

情報モラル教室～GREE 出前授業を受けて～

9月26日(土)は土曜授業で「GREE」の小木曾健さんによる「情報モラル教室」を体育館で開催しました。LINEの使い方、インターネットのプラス面・マイナス面をわかりやすく説明していただきました。「何をどのように気を付けて活用していくべきか」「トラブルを起こしてしまったときどのように対応すべきか」と、具体的な事例を挙げながらの講演は、時間の経過を忘れるほど引き込まれる内容でした。土曜日に持ち帰ったワークシートを見ながら、ご家庭でも話題にいただいたと思います。ご協力ありがとうございました。

今回の学年通信は、提出されたワークシートの一部をご紹介します。



《生徒の皆さんの印象に残ったことから抜粋 1組》

- インターネットはちょっとふざけただけで炎上とかしてしまうので、こわいと思った。
(鎌田 海成さん)
- 個人情報を話していなくても、言葉をあやまるとすぐ場所が特定できるという事が「こわいな～」と思った。
(清水 翼さん)
- ネットへの書き込みが自らの家の玄関に紙をはっていることと同意義だということ。特定班(通称)の仕組みについて
(萩原 開人さん)
- 一つの写真で自分の個人情報が一瞬で世界中に流れるという事を知ってこわいと思いました。ネットは玄関の外ということを忘れないようにしようと思いました。
(原 優花さん)
- ネットが炎上してもその記事を消してはいけないことです。もしも私が今日学んだことを知らなかったから、あわててその記事を消していると思うからです。
(松岡由莉菜さん)
- 1つの書き込みで人生がとんでもない事になるので、本当に現実でしていい事以外をネットでしてはいけないということを強く理解できたと思います。
(伊東 緋悠さん)
- 玄関の外に出たらいけないことが一番。いじめをして炎上して人生が変わってしまうのはかなしいことやなあと思った。1人、2人で100万人にいくってことがすごく驚いた。ネットはおそろしいなあってことを改めて思った。
(原 紅愛さん)
- 炎上の写真はすぐ消すのではなく続きをかくというのが印象に残った。
(須藤 颯斗さん)
- LINEはやってないけど、自分がLINEをするとなった時、写真に写真を撮った場所や住所が世界中に知れわたってしまうから、きちんと設定をしてスマホを使用したいと思った。
(矢田 奈々葉さん)

≪保護者の皆様のご意見から抜粋 1組≫

- 自分の良心に従って利用すること。世間一般の「常識」から外れたネット利用をしないこと、時間を決めることを約束しています。中学生は子どもから大人への微妙な年頃なので、ある意味「カン違い」を起こしやすいと思っています。ですので、「顔の見えないつながり」より「顔の見えるつながり」でたくさん学んでほしいと考えていますので（スマホは）持たせていません。
- 講演を聴きに行けず残念でした。GPSは外していますが（カメラも見られないようにシールをつけています）、子供がもしスマホ等自分のものを持つようになったときに、そういう警戒心を常にもってくれるか心配です。SNSもブログでも簡単に考えないように気を付けてほしい。中学校では娘も持たせていなかったのに、高校からの予定ですが、中学のこういった講演で子供の意識づけて下さること感謝します。
- 私自身、スマホユーザーであり、ラインやフェイスブック等いろいろ楽しんでいるのですが、息子には高校生になるまで携帯もスマホも持たせる予定はありません（本人も必要としていないのはありがたいです）今回のような講演会を開いていただき、実際持つ日がきたら学んだことを是非思い出し、正しい使い方で楽しんでほしいです。スマホを持つことは悪いことではありませんが、楽しいことと危険なことが背中合わせであることを理解して欲しいですね。また、必要が出てきたら中学生のうちにもたせることも「あり」かと思っています。
- 子どもに対しては、まだまだ自分はスマホの向こう側にある社会や現実に無知であることをよく話します。スマホ依存の始まりはすぐ近くにきている（食卓に持ち込んだり・・・）という事を言葉に出して聞かせて意識させたい。全てを取り上げるという事は難しい時代になっているので本当のこわさを教え続けたい。
- 講演会の内容につきましては、ネット利用の留意点として保護者は理解しているものですが、子とは具体例を挙げて話したことの多い物がありました。（我が家はモバイル機は与えていません）今まで「実名の記入を要するサイトは親に報告する」が約束事でしたが、子が大きくなり使い方が多岐にわたってきたため、この約束事では全く足りないと思っていた所だったので、個人情報特定に関するお話は渡りに船でした。今後も続けて頂きたいとたくみです。
- スマホを持たせている家に話を聞くと、テスト期間中、お風呂や用事で1時間LINEを返信していないと100を超えるメッセージがあったという事で、とても子供に持たせられない。
- SNSの誹謗中傷は絶対UPしない。もし友達がしたのを見たら注意できるようにする。投稿記事は一生どこかに残るものであるので十分注意する。このような事を家族で話し合いました。

次号は、2組を掲載します。